

日米貿易交渉に関する閣僚会合・首脳会談の結果概要

平成31年4月
内閣官房TPP等政府対策本部

1. 会合概要

(1) 日時・場所：

平成31年4月

25日午後：閣僚会合

26日午後：首脳会談

於：ワシントンDC



(2) 出席者：

閣僚会合：茂木大臣、ライトハイザー通商代表他

首脳会談：安倍総理、トランプ大統領、茂木大臣、ライトハイザー通商代表他

2. 結果概要

- (1) 日米首脳会談を前に、25日、茂木大臣とライトハイザー通商代表が協議を行い、先週行われた日米貿易に関する2日間の協議内容の確認とともに、両首脳が求める、日米 Win-Win となる良い成果を、いかに早期に実現するか、という観点から率直な議論が行われた。
- (2) 26日の日米首脳会談においては、安倍総理より日系企業の対米投資の拡大、米国からのエネルギー等の購入拡大についてのアップデートした説明の後、日米双方にとって利益となる方策が日米経済関係ひいては世界経済の発展につながる旨述べた。
- (3) その上で、日米貿易交渉では、茂木大臣とライトハイザー通商代表との間で、昨年9月の日米共同声明に沿って、物品貿易について議論が進んでいることを両首脳が歓迎した。
- (4) また、安倍総理は、デジタル貿易（Eコマース）の取扱いについても、この分野を日米が主導するべく前向きな議論が行われることを期待していると述べた。
- (5) こうした考えを踏まえ、両首脳は、茂木大臣及びライトハイザー通商代表に対し、日米貿易交渉での早期の成果達成に向けて、今後も日米の信頼関係に基づき議論をさらに加速させることで一致した。